

ワンポイント講座22

水虫は、梅雨から夏場に多発する病気です。
まずは予防。清潔と乾燥をこころがけてください。

看護職 伊藤 明美

水虫って、どんな病気？

水虫は、皮膚の角質のタンパク質（ケラチン）を食べて生きるカビの一種（白癬菌・はくせんきん）が原因で起こる病気です。皮膚に付いたカビが洗い流されず、高温多湿という好条件を得た場合、繁殖を始めます。白癬菌が角質に数日間付着して感染するとそれを排除しようと皮膚が炎症を起こすのです。全身にできますが、普通、足に多くが見られ、3つの型があり症状も異なります。

予防はどうするの？

梅雨から夏場に多発する病気ですが、最近では住環境の変化などにより一年中見られます。水虫の予防の基本は、清潔と乾燥です。お風呂で足先まできれいに洗い、クツ、スリッパ、バスマット等のこまめな洗浄と交換も大切です。まずは予防しましょう。洗うことは、全ての感染予防につながります。



- ・皮膚がむける
- ・かかげて白くなる
- ・強いかゆみ



- ・小さな水ぶけができる
- ・皮膚がむける
- ・強いかゆみ



- ・皮膚が厚く硬くなる
- ・皮膚がむける
- ・かゆみはほとんどない

趾間型（しかんがた）…ジクジク水虫
初期に起こりやすく、指（特に足の指）の間にできる、最も多いタイプです。

小水疱型（しょうすいほうがた）…ポツポツ水虫
足の裏や縁に小さな水疱ができ、強い痒みが起ります。

角質増殖型（かくしつぞうしょくがた）…カサカサ水虫
足の裏の皮膚が厚くなり、かかとの部分ではひび割れを起こします。
痒みはほとんどなく、爪の水虫（爪白癬）を合併する事が多いタイプです。

地域交流の輪、広げよう

地域の皆さん、ボランティアの皆さん、いつも、ありがとうございます。

当法人の事業所では、地域の皆さんやボランティアの皆さんのご協力をいただいて、さまざまな行事を実施しています。



花祭りに、園児の笑顔、太鼓の競演！

*明星苑コスモス

4月20日、花祭りを行いました。前半は、正福寺幼稚園の皆さんによる歌と踊。利用者の皆さんには、孫を見るようにニコニコしながら手拍子をされ、手作りのペンダントを一人ひとり首にかけてもらうと、思わず感涙。後半は、金丸と太鼓の会による勇壮な太鼓の演奏。ふれあい太鼓の時間は、利用者の皆さんも太鼓を叩いて実演。よい記念になったと喜んでいただきました。



5月、運営推進会議を開催。地域に開かれたサービスに務めています。

*グループホームこすもす

5月12日の会議には、下千束自治会長、市役所職員、地域包括支援センター職員、入居者、入居者家族の代表などの皆さんにお集まりいただきました。この会議は地域に開かれた質の高いサービスを行うことを目的として開くものです。入居者へのサービス提供や行事などを報告。3月11日の大震災に伴い、防災・災害などの支援の必要性について話し合いました。

毎月2回、火災避難訓練を行っています。

*グループホームこすもすⅡ

昨年5月、入居者とご家族、近隣住民、運営推進委員など、総勢40名の皆さんにご協力いただき、夜間を想定し避難訓練をしました。今年2月には、消防隊員5名と救急隊員3名、はしご車も出動して本格的に訓練を行いました。隊員さんもスタッフも真剣です。もしもの時に応できるよう訓練を継続していきます。



久留米囲碁こども教室を開催しました

*ケアハウスコスモス21

昨年8月より今年2月まで、月2回、地域交流センターにて「こども囲碁教室」を開きました。日本の伝統競技である囲碁を通して、礼儀作法や大局的な物の見方、判断力について勉強する機会をもってもらおうと、日本棋院久留米中央支部の皆さんのご協力で実施しました。教室には22名の小学生らが参加し、講師の佐々木茂先生の指導を受けながら熱心に囲碁を打っていました。



コスモス

介護老人保健施設 明星苑
コスモス
2011 6/1 vol.28

医療法人八十八会ツジ胃腸科医院から、「こんにちは！」春夏秋冬、いろいろな行事を楽しんでいます。



103歳の山上イセノさん、節分の豆まきで鬼退治しました。明星苑コスモスの最高齢入所者です。詳しい内容は、3頁で紹介しています。



ボランティアの皆さん、いつもありがとうございます！

3月25日、「グループホームこすもす」では、ボランティア「稻穂の会」の皆さんに、踊りや歌を披露していただきました。特に「ひよっこ踊り」は笑いの渦に包まれ、利用者の皆さんも、いつしか「ひよっこ顔」に。みんなで、大笑いをしました。

訪問介護事業所「コスモス」
サービス提供責任者 林 朋子

また会話の中で利用者の脳の活性化の為、名前、生年月日、今日の日付をお聞きする事などに気をつけています。

平成16年から訪問介護事業所「コスモス」でサービス提供責任者として働いていますが、勤続年数の長いヘルパーさんが多いのでサービスも安心して任せられますし、ヘルパーさんの笑顔や向上心に後押しされてここまでやってこられた事に感謝したいと思います。認知症の方とのコミュニケーション手段であるバリデーションの研修会や調理教室に参加するなど、今後もさらに研鑽に努めたいと思います。これからも当事業所を宜しくお願い致します。

コスモス

広報誌「コスモス」 vol.28 2011年6月1日発行

発行●医療法人八十八会 ツジ胃腸科医院

介護老人保健施設 明星苑コスモス 〒839-0863 久留米市国分町991-1 TEL0942-21-0775

企画・編集 オフィス ケイ

CLOSE UP

明星苑コスモスは、利用者の皆様、ご家族の皆様と一緒に、
「計画的に在宅復帰を支援していく」と取り組んでいます。
今回、在宅復帰をされた志賀克吾さん（現在・95歳）を紹介します。

在宅復帰して、半年余り。 リハビリを頑張ったお陰で、こんなに歩けるようになりました。

「今日は初めて、郵便局へ歩いていきました。杖についてですが、やればできるな、と思いました」

昨年8月、苑に入所し、11月に在宅復帰をされた志賀克吾さんは、開口一番こう話しました。自転車で転倒して、左足や腰、肘を骨折して手術し、リハビリ病院を経て、苑に入所。その頃の克吾さんは車椅子の生活でした。

「もう自力では歩けないと思っていたが、苑で、『人生これから音頭』という歌を知って決心したのです。このままではいけない、もう一度歩いてみせると」

在宅復帰を目標に、リハビリに励む克吾さん。苑では、ご本人、ご家族との定期的な話し合い、退所が近づくと家屋調査など、一つひとつ準備を進めていきました。

在宅復帰して半年が過ぎ、克吾さんは自分で風呂に入り、椅子に腰かけながら庭の手入れもしています。今では、介護保険が要介護2から要支援2に戻ったといいます。

「やったな、とうれしかったです。今が、これまでの人生で最高の時。家族や苑の皆さんのお陰です」

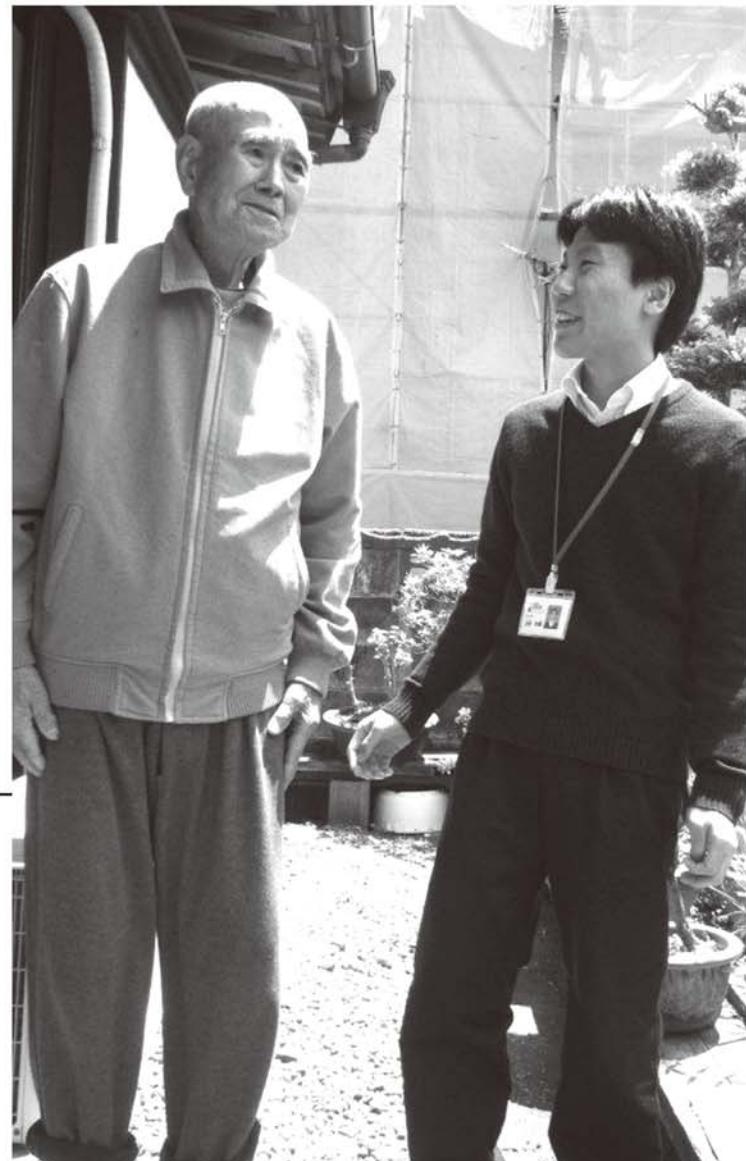
自慢の庭で、克吾さんはにっこり。今後も、安心して家に帰つていただけるようご利用の皆様をサポートしてまいります。

克吾さんは、杖をつかずに庭を案内。

支援相談員の上村志保さん（右）
「克吾さんは、かなり早い復帰でした。在宅復帰への強い思いがありましたが、杖歩行ができるようになったから、どうでしょうか、とご家族にこまめにお話を聞いてきました。在宅復帰には、ご家族の協力が必要です。医師、看介護スタッフ、リハビリスタッフや、ケアマネジャーらと連携して進めていきますので、安心してください」



志賀克吾さん・ミドリ（妻）さん
自宅に戻った克吾さんは、椅子に腰かけながら庭の手入れをしました。
草一本もない、きれいなお庭です。
「あれは木牡丹。美しいですよ」



SPECIAL TALK 百歳万歳!!



百歳を前に

寄稿 古賀ユキさん

明治44年生まれ
明星苑コスモス 通所リハビリテーション

「平成23年10月5日」。私の満百歳の誕生日が来る。その事実がやっと身近なものに感じられる。何時の間にこんな高齢者になったのか、先頃まで自分のこととして考えられなかった。

私にも青春もあれば、中年もあった。青春時代の私のあこがれは、きれいな和服に紫紺の袴を裾長く召された教壇上の優美な先生のお姿だった。私もそうした先生になりたかった。然し其の夢の実現はなかなかむずかしかった。

私が結婚し、子供を生むうちに、世の中は

「明星苑コスモスは、家庭的な雰囲気です。若いスタッフの皆さん、利用者の皆さんとの化粧した足の指を取り、痛いだろうと、早く良くなるようにと、丁寧に洗う姿に頭が下がりますね。」

戦時一色となり、私は裁判所の男性職員の補充として職員に採用され、終戦まで働いた。昭和21年終戦と共に、お払い箱になったが、ただそれを機会に司法書士の資格を授与されて、福岡県女性第一号として、事務所を開設した。

爾来40数年に及ぶ間、司法書士として、専ら人々のために務めたのがせめてもの慰めである。その間に何度も永年勤続として表彰され、多くの人々の知遇を得た。私は久留米生まれで、久留米で人と成り、久留米で一塊の土になることに安んじている。

PHOTO SKETCH 冬から春、楽しい行事がたくさん。

当医療法人の事業所では、毎月、季節を感じていただけるような行事を実施しています。その中から、いくつかご紹介します。

明星苑コスモス 療養部2階・療養部3階

2月 節分行事で豆まきをしました

明星苑コスモスでは、2月3日に節分行事を行いました。健康で過ごせますようにと、みんなで豆まき。2階と3階の入所者の皆さん、楽しそうに、鬼に向かって、「鬼は外! 福は内!」。表紙の写真で紹介した山上イセノさんも、鬼退治。これで今年も、無病息災です。



グループホームこすもす

4月 花見に出かけました。気持ちいいね



4月5日、12日の両日、陸上自衛隊久留米駐屯地、久留米競輪場の満開の桜を見て、ドライブをしました。「久留米道の駅」では買物を楽しみ、百年公園の美しい桜に、利用者の皆さんも、ほら、この笑顔。色鮮やかな花々に、足取りも軽く、さわやかな春の一日を満喫し帰路につきました。また行きましょうね。



グループホームこすもすⅡ

3月 小学生の皆さんを招いて、ひな祭りを行いました。

グループホームこすもすⅡのひな祭りは、「さげもん」の飾りがたくさん。ひな祭りの行事に、大善寺小学校の2年生から6年生の4名が来てください、身体遊びやなぞなぞ、歌などを一緒に歌って楽しいひとときを過ごしました。子ども達のかわいい顔、しぐさ、声に、皆さんの顔も一段とほころびました。



明星苑コスモス 通所リハビリテーション

12月 クリスマスバイキングで、心もお腹も大満足。

クリスマスイベントとして、バイキングを行いました。恒例の催しで、笑いあり、涙ありのクリスマスバイキング。出し物も楽しいですが、何と言っても、おいしい食べ物付き♡ 利用者の皆さん、職員も一年で一番楽しみにしています。今年のクリスマスも盛り上がる事、間違いないです。